

## 統合物質創製化学推進事業

### 第2回統合物質シンポジウム「化学合成力と機能創出」

会期：平成23年11月7日（月）、8日（火）

会場：名古屋大学 野依記念物質科学研究館

#### 第1日目：11月7日（月）

13:00 開会の辞

13:05 研究報告 村田靖次郎（京都大学化学研究所・教授）

「水を内包したフラーレン C<sub>60</sub> の有機合成」

13:35 研究報告 朝倉清高（北海道大学触媒化学研究センター・教授）

「酸化物固体表面上の金属クラスター生成」

14:05 研究報告 山口茂弘（名古屋大学大学院理学研究科・教授）

「ホウ素を鍵元素とする光・電子機能性有機材料の創製」

14:35 休憩

14:50 特別講演 玉尾皓平（理化学研究所基幹研究所・所長）

「有機元素化学：機能性探求から新たな地平へ」

15:40 研究報告 徳田陽明（京都大学化学研究所・准教授）

「有機無機ハイブリッド材料の構造設計と機能制御」

16:10 研究報告 嶋田直彦（九州大学先導物質化学研究所・特任助教）

「ウレイド基を有する高分子の生理的条件下における相転移挙動」

16:40 ポスターセッション

17:30-19:30 懇親会

## 第2日目：11月8日(火)

- 9:00 研究報告 齊藤進 (名古屋大学高等研究院・准教授)  
「ハイドロジェニクスに基づく炭素資源利用  
-アルコール類の触媒的な形成と反応の新展開-」
- 9:30 研究報告 小笠原正道 (北海道大学触媒研究センター・准教授)  
「有機合成手法による遷移金属錯体の立体制御：  
面不斉遷移金属錯体の触媒的不斉合成」
- 10:00 研究報告 高谷 光 (京都大学化学研究所・准教授)  
「メタル化ペプチドを用いる金属集積制御と機能開拓」
- 10:30 休憩
- 10:50 特別講演 齊藤軍治 (名城大学総合研究所・教授)  
「スピン三角格子に基づく新規スピン相 (量子スピン液体)・  
金属相・超伝導相の開拓」
- 11:40 研究報告 吉澤一成 (九州大学先導物質化学研究所・教授)  
「単一分子伝導の軌道理論：実験的検証」
- 12:10 昼食
- 13:30 研究報告 松本 剛 (名古屋大学大学院理学研究科・助教)  
「嫌気性生物の炭素固定に関連する金属酵素のモデル研究  
-アセチル CoA 合成酵素の反応機構解明-」
- 14:00 研究報告 原 賢二 (北海道大学触媒化学研究センター・准教授)  
「規整表面上に精密集積した金属錯体の調製と触媒機能」
- 14:30 研究報告 塩田淑仁 (九州大学先導物質化学研究所・助教)  
「金属錯体のスピン交差に関する理論的研究」
- 15:00 閉会の辞